

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公表番号】特表 2007-503592 (P2007-503592A)  
【公表日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)  
【年通号数】公開・登録公報 2007-007  
【出願番号】特願 2006-532407 (P2006-532407)  
【国際特許分類】

**G 0 1 N 27/62 (2006.01)**

**H 0 1 J 49/16 (2006.01)**

**H 0 1 J 49/04 (2006.01)**

【F I】

G 0 1 N 27/62 V

H 0 1 J 49/16

H 0 1 J 49/04

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 13 日 (2007.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の表面を有するポリマー基材と、  
前記ポリマー基材の前記第 1 の表面の上の複数の細孔と、  
前記複数の細孔の少なくとも一部の上のコーティングと、  
を含み、分析物を受容し、後に前記分析物を脱離させるように構成される、多孔性ポリマー物品。

【請求項 2】

前記コーティングがダイヤモンドライクガラスを含む、請求項 1 に記載の多孔性ポリマー物品。

【請求項 3】

第 1 の表面を有し、充填剤を含有するポリマー基材と、  
前記ポリマー基材の前記第 1 の表面の上の複数の細孔と、  
を含み、分析物を受容し、後に前記分析物を脱離させるように構成される、多孔性ポリマー物品。

【請求項 4】

前記充填剤が、金属粒子、金属酸化物、炭素粒子、またはそれらの組合せを含む、請求項 3 に記載の多孔性ポリマー基材。

【請求項 5】

高密度ポリエチレンを含む、請求項 3 に記載の多孔性ポリマー基材。

【請求項 6】

粒状充填剤を含有する熱誘起相分離されたフィルムを含むポリマー基材と、  
前記ポリマー基材中の複数の細孔と、  
を含み、分析物を受容し、後に前記分析物を脱離させるように構成される、多孔性ポリマー物品。

【請求項 7】

前記ポリマー基材が高密度ポリエチレンを含む、請求項 6 に記載の多孔性ポリマー物品。

【請求項 8】

前記粒状充填剤が、金属粒子、金属酸化物、炭素粒子、またはそれらの組合せを含む、請求項 6 に記載の多孔性ポリマー物品。

【請求項 9】

ダイヤモンドライクガラスのコーティングをさらに含む、請求項 6 に記載の多孔性ポリマー物品。

【請求項 10】

試料材料を受容するように構成された多孔性ポリマー基材を提供する工程と、  
高エネルギービームを用いて前記基材から分析物を脱離させる工程と、  
脱離された分析物を質量分析計を用いて分析する工程と  
を含む、試料材料の分析方法。

【請求項 11】

前記多孔性ポリマー基材が粒子充填剤を含有する、請求項 10 に記載の試料材料の分析方法。

【請求項 12】

前記多孔性ポリマー基材がコーティングを有する、請求項 10 に記載の試料材料の分析方法。